

18. ミキを切断した採種木の枝の立ち上りを防ぐ生長素処理法：3年目の残功

九州林木育種場 戸田良吉
明石孝輝

採種園で、採種木からタネをとりやすいようにミキを切断し枝を横に張らせようとしても枝が立ち上ってくる。これを防ぐのに生長素処理の効果があつたことは先に報告したとおりであるが(1963. 7. 戸田、明石、菊池)、実用化のためには、さらに、処理効果が

長期間持続する必要がある。そこで、3年を経過した同じ材料について枝の状態を調査し残功を確認したので報告する。なお、詳細については日林誌に投稿するので省略する。

19. ジベレリンによるスギの着花促進

—処理方法の検討—

九州林木育種場 戸田良吉
菊池秀夫

スギの着花促進法としてのジベレリン処理は加藤(1959)によって具体的処理法が提案されているが、筆者等は九州における採種園の結実促進の観点から、

濃度、時期、回数等による効果のちがいと、そのクローン間差について実験した。

用いられたのは、九州林木育種場において養成され

(第1図) 施用法(時期、回数)別の促進効果

